罪

五年

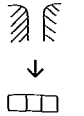
画数 13

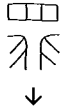
筆順 罒 罒 罒 罒 罪 罪 罪 罪 罪 罪 罪 罪 罪

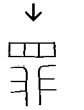
オン ザイ

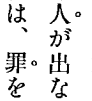
クン つみ

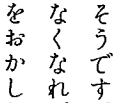
成り立ち

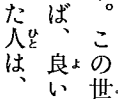


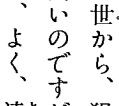


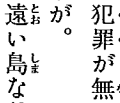


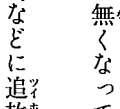












罪

〔"反対"の意味から"非行（道理に反した悪い行い）"の意味を表した"非（5年803）"と、鳥や魚を取る網の形を表した"罒"とを組み合わせて作った字です。

「非行の人をとらえて"罰する"こと」を表した字です。「罰するにあたいする非行」という意味に使われています。「悪い行い」のことです。例罪悪、罪人、犯罪。

〔罰は、罪の重い軽いに応じて下す"刑"のこと。それで、"刑罰"と言う。"罒"は"置（4年577）"が初出。ほかには"署（6年918）"がある。〕

使い方

▽日本は、世界の中でも比較的犯罪の少ない国だと言われます。もちろん日本でも犯罪は起きていて、新聞の三面記事に出たりしますが、それでも、まだ、少ない方なのだそうです。この世から、犯罪が無くなって、罪人が出なくなれば、良いのですが。

▽昔は、罪をおかした人は、よく、遠い島などに追放されました。これを流罪といいます。都を遠く離れて、絶海の孤島に流されるのは、ひどく心細かったでしょうが、死罪よりはましだったに違いありません。

熟語例

▽罪悪（道徳や法律などにそむく、悪い行い。「寄る辺ないみなし子を見捨てるなんて、ひどい罪悪だ」などというふうに、つかいます。）

▽罪人（罪を犯した人。悪いことをした人）

▽犯罪（法律などにそむく行い）

▽流罪（遠い地方や島などに追いやる刑罰。島流し）

▽死罪（死刑のこと。）

▽余罪（主な罪のほかに、犯している罪。「この男には、ほかに余罪が沢山あるに違いない」などと、つかいます。）

雑

五年

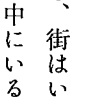
画数 14

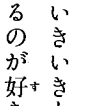
筆順 ノ 九 九 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂 杂

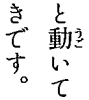
オン ザツ・ゾウ

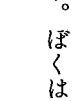
クン

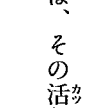
成り立ち











雑

数の多い意味を表した"九"と、鳥の形を表した"隹"と、"木"とを組み合わせて作った字です。

"隹"と"木"を重ねると"集"という字になります。それで、雑は、「多くの物を集める」という意味の字だということがわかりますね。

「いろいろな物が"まじる"」こと、「ごたごたしている」こと、「まとまりがない」こと、などの意味に使われます。

〔旧字体は"雜"で、"襍"という字体もある。集と衣との会意字である。端切れ（半端な布）を集めて作った衣服のことを表したもの。色々な布が混じっているので、"混じる"意味に使う。〕

使い方

▽わたしが飼っている犬は雑種ですが、とてもかわいいので、皆で大事にしています。

▽街の雑踏の中を歩いていると、色々な雑音が耳に飛び込んで来ます。目に入る景色も雑然としています。でも、街はいきいきと動いています。ぼくは、その活気の中にいるのが好きです。

熟語例

▽雑種（色々な種類のものが混じっているもの。とくに、動物や植物で、違った種類のものの間に生まれたものを言います。）

▽雑踏（大勢の人が、ごたごたとたくさんいること。人ごみ）

▽雑音（音楽の音のような美しさを持たない、色々な音が混じり合った音）

▽雑然（まとまりが無くて、ごたごたとしていること。）

▽雑用（重要でない、細々とした、つまらない用事。「近頃は雑用に追われて、本来の仕事が、ちっともできない」などというふうに、つかいます。）